

4年に1回？

## うるう年について

猫好きにはたまらない

## 猫の日について

●あまり馴染みがない  
初午って？

## うるう年について

4年に1回？

うるう年といえば、「2月29日がある年」「4年に1度」と認識している方が多いのではないのでしょうか？

また、必ずしも4年に1度とは限らない  
ということをご存じでしょうか？

グレゴリオ暦で定められ、  
現在も使われている、うるう年の挿入ルール。  
うるう年は4年に1度とされていますが、  
実際は、「必ず4年に1度」ではありません。

長年使われるうちに季節と暦がズレてしまいました。

暦を組み立てたのがグレゴリオ暦です。

グレゴリオ暦ではうるう年を400年間で97回と定めています。  
必ずしも4年1度、うるう年になるわけではありません。

グレゴリオ暦では、うるう年について  
次のような挿入ルールが定められています。

- ・西暦が4で割り切れる年をうるう年とする
- ・上記のうち、西暦が100で割り切れる年はうるう年としない
- ・上記のうち、西暦が400で割り切れる年はうるう年とする

貴重なうるう年。  
ちょっと特別な気持ちで迎えてみてはいかがでしょうか。

## 猫の日について

猫好きにはたまらない



なぜ2月22日が猫の日かというと

「2=にゃん、2=にゃん、2=にゃん」という

猫の鳴き声の語呂合わせにちなんでおり

全国の愛猫家からの公募によって決定されました。

また、2月22日は

「猫の健康診断の日」ともされており。

猫は病院に連れて行くのが難しく、

病気が判明したときには、

すでに手遅れであることも少なくないことから

早期発見のために健康診断を受けることの重要性を

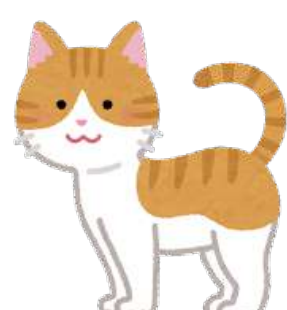
多くの人に知ってもらうのを目的に、

一般社団法人「Team HOPE」が、

2021年に制定しました。

愛しの猫ちゃんの健康のためにも、

健康診断を受けましょう！



## 初午って？

あまり馴染みがない

2024年の初午の日は、**2月12日(月)**です。

初午とは2月初めの午の日で、  
穀物の神様が稲荷山(伊奈利山)に降臨したのが  
和銅4年(711年)の初午であったことから、  
「お稲荷さん」の名でおなじみの稲荷神社の祭日として  
親しまれるようになりました。

初午には、定番料理を食べる習慣があります。

### - いなり寿司 -

キツネが稲荷大神のお使いだから。  
キツネは秋の収穫のころに里に下りてきて、  
収穫が終わるころに山に戻っていくことから、  
農耕を見守っている神聖な動物として考えられてきたのだとか。

そして、そんなキツネの好物である  
油揚げを使った「いなり寿司」が、  
初午では定番の料理となったのです。

2月の月こよみ

